

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・今だからこそできること
- ・いじめは、しない、させない、ゆるさない
- ・第32回さわやか町民登山会
- ・4月定例教育委員会
- ・中国・北朝鮮から降ってきた火山灰
- ・厚真町育英資金貸付のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

今だからこそできること～臨時休校中の取組紹介～

4月16日(木)緊急事態宣言が全国に拡大、さらに、5月4日(月)緊急事態宣言の期間延長に伴い、厚真町でも4月20日(月)～5月31日(日)まで町内の学校すべてが臨時休校となりました。その間、厚真町教育委員会では、自宅にいながら学べるオンライン講座やあつま災害工フエムでの特別番組の放送を行う「厚真こどもひろば—Stay Atsuma—」という取組を実施しています。また、児童生徒の運動不足解消、運動のきっかけになればと、5月11日(月)～31日(日)の間、毎日ラジオ体操を行う「ラジオ体操チャレンジ」も実施しています。

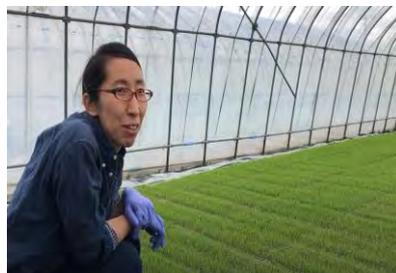


林業の仕事現場を取材に行った様子

オンライン講座では、教育委員会の職員が様々な場所を訪問しながら、町内で活躍している方に取材をしています。次はどこに行こうかなあ…。



厚真町の林業を学ぶ(丹羽林業)



厚真町の農業を学ぶ(堀田農園)



ハスカップ栽培を学ぶ(土居ハスカップ農園)



ワンポイント英会話(ケルシー先生)



厚真を知る(軽舞遺跡調査整理事務所)



ラジオ体操チャレンジも実施中！対象は町内小中学校の児童・生徒です。毎日やったら、賞状や景品が…頑張りましょう！

【関連サイトQRコード】



オンライン講座



厚真散策マップ



図書受付フォーム



情報提供
(facebook 冒険の社プロジェクトページ)

ぜひ、見てくださいね！



いじめは、「しない!」「させない!」「ゆるさない!」

町のいじめ防止の方針が、「厚真町いじめ防止基本方針」に定められています。(平成30年6月改定)

いじめは、いじめを受けた子ども、いじめを行った子どもだけでなく、すべての子どもに関係する問題です。厚真町では、町民みんなで力を合わせて、いじめから子どもを守ることを目指して、平成27年4月に「厚真町いじめ防止基本方針」が作られました。

「厚真町いじめ防止基本方針」には、いじめ防止のための取組、学校や家庭の責務、重大事態への対処などが定められています。

※「厚真町いじめ防止基本方針」の本文及び概要版は町のホームページに掲載してあります。

Point 1 これらのことは、すべていじめになります。

- 冷やかしかからかい、悪口やいやなことを言われる。
- 仲間はずれや無視をされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする。
- ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする。
- お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする。
- いやなことや恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする。
- メールや無料通話アプリ（SNS等）等で、悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする。 など

Point 2 学校はいじめ解消に向けてこんなことに取り組みます！

- 「けんか」や「ふざけ合い」でも、いやな思いをしている子どもの立場に立って、いじめかどうかを判断し、対応します。
- ささいな兆候であっても、複数の教員が的確に関わり、いじめを積極的に認知します。
- いじめの発見・報告を受けた教職員は、速やかに、「学校いじめ対策組織」に報告し、情報を共有し、学校全体で組織的にいじめの解消に向けて対応します。
- いじめの「解消」は次の①②に基づいて判断し、日常的な観察を継続します。
 - ① いじめの行為が3か月以上ないこと
 - ② 本人と保護者に面談等で「心身の苦痛を感じていない」ことを確認すること
- 児童生徒・保護者に学校のいじめ防止基本方針を説明します。
- 学校評価で、いじめ問題への取組を評価し、改善します。
- 児童生徒に情報モラル教育を行います。
- 特に配慮が必要な児童生徒には、日常的に適切な支援を行います。 など

Point 3 町民・事業者の皆様へ 子どもをいじめから守りましょう。

- 子どもたちの健やかな成長・発達のため、子どもたちが異世代間の交流や社会体験活動、文化・スポーツ活動等に取り組むことができる地域の体制を整えましょう。
- 子どもたちの発達の段階に応じた道徳観や規範意識を身に付けさせ、生命を尊ぶ心や他者を思いやる気持ちを育むため、学校や家庭と連携した地域での取組を進めましょう。
- 子どもたちがいじめを受けている、又はいじめを行っているとの疑いを感じた場合には、子どもが在籍する学校や保護者や関係団体に相談や連絡・通報するなどして、子どもたちの抱える問題の解消に努めましょう。

教科書展示会開催

教育委員会では、現在使用している教科書や令和2年度に使用予定の教科書見本の展示会を次のとおり開催します。教科書展示会は教科書の適正な採択のため、教科書見本を効率的に利用するために設けられた制度です。

また、教育関係者だけでなく、保護者や一般の方々にも閲覧していただくことで、教科書や教科に対する理解を高めてもらうことも目的としています。



- ◆展示期間 6月12日【金】～25日【木】
午前9時～午後5時※土日も開催
※火・木 午後7時まで
- ◆ところ 厚真町青少年センター
- ◆問合せ 教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

4月定例教育委員会

4月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
令和2年度全国学力・学習状況調査の中止について／令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の中止について／令和元年度標準学力調査の保護者への概要公表について／4月校長会・教頭会について／厚真町教育研究所設立準備委員会について（5件）
- ◆議案
厚真町立学校における働き方改革アクション・プランの一部改正について／文化財の指定について（2件）
- ◆その他
グループ業務分担表／第57回北海道市町村教育委員会研修会について（中止）／新型コロナウイルス感染症対策について（3件）
- ★問合せ
教育委員会 学校教育グループ
☎27-2494

第32回さわやか町民登山会

自然に親しみながら体力づくりができる登山にチャレンジしてみませんか？



- ◆主管 あつま山の会
- ◆共催 厚真町教育委員会
厚真町体育協会
- ◆とき 7月5日【日】
午前6時00分 総合福祉センター前集合
午後7時00分 帰着予定
- ◆行き先 アポイ岳 810.6m（様似町）
- ◆持ち物 ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、軍手、ごみ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ◆服装等 行動に適した服装。靴は登山靴または運動靴で履きなれたもの。
- ◆定員 30人（小学生は保護者同伴）
- ◆参加料 記念品及び保険料等（当日の朝徴収）
大人（中学生以上）1人500円
子ども（小学生）1人300円
- ◆その他 雨天の場合は中止（当日の朝決定）
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または延期する場合があります。
- ◆申込み 6月30日【火】まで電話等で申込
教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775（スポーツセンター）

英会話教室開催延期のお知らせ

先月の生涯学習だよりでお知らせしておりました「ケルシー先生と学ぶ英会話教室」については、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の延長を受けて、開催を延期することとします。今後の開催については、改めてご案内します。

【ケルシー先生が帰国しました】

昨年8月から厚真町のALTとして勤務していたケルシー先生が、世界中での新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、5月3日にカナダへ帰国しました。（以下ケルシー先生からのメッセージ）

厚真町ではすごく楽しい時間を過ごすことができました。厚真町を離れるのはすごく寂しいですが、また皆さんに会えるのを楽しみにしています。

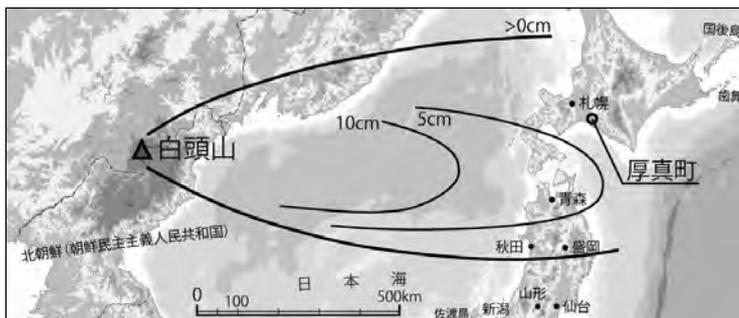
- ★問合せ
教育委員会 社会教育グループ
☎27-2495

中国・北朝鮮から厚真に降ってきた火山灰はくとうさん～白頭山苦小牧火山灰～

厚真町の大地には、樽前山や恵庭岳、有珠山などの火山灰が厚く降り積もっていますが、西暦946年、厚真から約1,000kmも離れた中国と北朝鮮国境の白頭山（標高2,750m・活火山）の火山灰も確認されています。この火山灰は苦小牧港掘削の崖面で発見され、1981年までは噴出起源が不明であったことから、当初は苦小牧火山灰と呼ばれていました。成分が国内の火山と異なり、日本海底のボーリング調査のデータから白頭山の火山灰とわかりました。この時の噴火規模は過去2,000年間のうち、世界で最も大きな火山噴火の規模と言われており、奈良時代の古文書にも降灰の記録が残っています。

厚真町では沢の中や木が倒れたくぼみに溜まったものなど特定の場所に見られ、地質関係者の間でも大変珍しい火山灰として扱われ、軽舞事務所では回収した火山灰のサンプルを希望者に配布しております。

朝鮮半島は、日本の隣であり、特に北海道や東北地方と距離はすごく近い場所です。白頭山の火山灰は、朝鮮半島で起きた自然災害が決して他人事ではない、ということの後世に伝えていく貴重な資料になっています。



白頭山の位置と西暦946年の火山灰降下範囲



豊沢地区に見られる白頭山苦小牧火山灰（写真中央の地層）

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所のある方の子弟で、大学等に進学された方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
- (2) 高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
- (3) 専修学校専門課程（2年以上4年以内）
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円以内で1万円単位に希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月月上旬に振込みます。

・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）

●返済方法

卒業後、6か月の据置期間の後、貸付期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

- ① 申請書（教育委員会にあります）
 - ② 在学証明書
 - ③ 成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）
 - ④ 課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）
- ※健康診断書は今年度に限り不要とします。

●申込期限

令和2年5月29日（金）まで

●申込先 教育委員会 学校教育グループ

☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

気軽に読んで楽しんでほしい一冊！！



★「やまねこのこんには」 はせがわさとみ/作

森の中の小さな家に引っ越してきたやまねこさん。家の中も片づいたので、ご近所さんにあいさつに行こうとかけます。どんなあいさつをしようかと、考えながら歩いていると、ご近所さんたちがどうやら自分のうわさをしているようで…。みんなの期待に応えようと、背のびしてしまうやまねこさんの奮闘ぶりも応援したくなりますが、失敗して消えてしまいそうなやまねこさんにやさしい言葉をかけてくれる、ご近所のどうぶつさんたちのあたたかさも心がなごむ一冊です。

★「おすしのずかん」 大森裕子/作

外出を控えるようになって外食も控えるようになってしまったのですが、そんな時にはこの絵本で乗り切りましょう。15cmほどの小さな絵本ですが、寿司ネタと元の魚のイラストがたくさん描かれています。この非常事態が収束したら、回転ずし店でこのネタを食べたいと思いながら今は絵本で我慢しています。

★「文豪と暮らし」 開発社/編

近代に活躍した文豪が愛した日用品、食べ物、場所を紹介した一冊です。夏目漱石がビスケット好きだとか、菊池寛が昭和の初めの日本に麻雀ブームを巻き起こした…といったエピソードが収録されています。芥川龍之介が通っていた東京銀座の喫茶店や、織田作之助が好きだった自由軒の生卵がのったカレーライスなど今でも営業しているお店も紹介されているので、旅行に行けるようになったらぜひ訪れてみたいものです。



寄贈図書コーナーのお知らせ

栃木県の作新学院中等部から、厚真町公民館図書室宛に、一般書・児童書合わせて 160 冊が寄贈されました。世界の素敵な風景写真集や、元気をもらえる言葉の本、妖怪の本、ネズミー家の楽しい暮らしが描かれている「14 ひきの」シリーズなど、作新学院中等部の先生が中心となって選書してくれました。

青少年センター図書室でコーナーを作って展示していますので、ぜひご利用ください。

■6月の休館日

- ・青少年センター図書室の休館日はありません。
- ・厚南会館図書室は、厚南会館の休館日に準じます。

■青少年センター図書室開館時間 (5月14日現在)

午前9時から午後5時 (月～日)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

6月のおはなしのびっこは 25日(木)10時から 青少年センター絵本コーナーです。

状況によって休止する場合がありますので、その時はお知らせします。

☆放課後子ども教室☆ ※5月31日まで活動を中止しています。

北海道の春はにぎやかです。桜のピンク、キタコブシの白、レンギョウの黄色、ツツジの紫。木々が芽吹いて新緑がキラキラ光り、一気に世界が色づきます。外に出ると、湿度を含んだ暖かな春の匂いがします。様々な制約があり、自粛が続く今、心が重たくなつたと感じたら窓を開けて春の空気を胸いっぱいに取り込んで深呼吸です。部屋の空気と一緒に、心の中の空気も入れ替えていきましょう。

新学期が始まったとほつとしたところに再びの臨時休校。今年のGW＝ゴールデンウィークは、“がまんウィーク”とも呼ばれ、人との接触7割減、外出自粛に多くの人が努めたことと思います。これほどまでに自由度の低い長期休業。「もし、自分が子どもだったら・・・」どんなことをして過ごすでしょうか？好きなだけゲームをして、ゴロゴロしながらマンガを読み、テレビや動画も見放題に過ごすかもしれません。しかし、「それも3日で飽きるなあ」と大人になった私は思います。勉強をしてほしいと思っている保護者の方も多いでしょう。休校中の勉強について、私がオススメしたいのは自由研究をすることです。夏・冬休み、期日に追われて必死にやった“宿題”ではなく、自由研究の題材は『自分が好きなモノ』で良いのです。例えば、ゲームが好きな子は、そのゲームのどういうところが好きなのか、なぜ夢中になってしまうのかを分析してみる。自分が好きな芸人やYouTuberについて、なぜ面白いと思うのか、ネタの構成や間の取り方を研究する。料理や工作が好きであれば、実際に作って、その作り方をまとめてみる。本を読むことが好きであれば、書評を書いたり、帯のコメントを書いたりしてみるのも良いかもしれませんね。好きなアーティストのコンサートを想像して、演出やセットリスト（曲の演奏順）を考えるのも面白いでしょう。時間は貴重なものであり、有限です。この状況にも終わりはありません。退屈に浪費するだけではなく、自分が好きなモノについて思いをさせ、楽しいと感じる時間を過ごすことは、気持ちを明るくすることにもつながります。行動は制限されても、発想は自由にこの状況を乗り越えていきましょう。

子ども教室的自由研究は、これまでの活動をいずれ記録としてまとめたいと考えていたこともあり、写真の整理をしています。今回は懐かしい写真から最新ののものまで、その一部をみなさんにお届けします。

放課後子ども教室ギャラリー ～春の自然探検編～

